

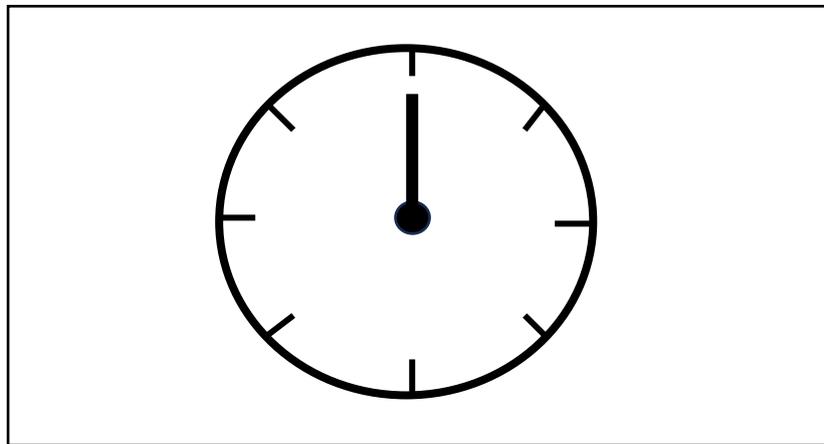
添付（２）①

貴重品運搬警備業務１級 「警察官に停車を命じられた場合の周囲の警戒要領」実技試験実施方法の変更について

1. 試験の解答方法の変更

解答は、貴重品運搬警備業務実施中の警備員が警察官に停車を命じられた試験映像（約7分）を見ながら、10区分の各場面における警戒要領の正誤について、答案用紙の「正しい」又は「誤り」のどちらかの□（チェックボックス）に✓（チェックマーク）を記入する方法とする。

解答は映像放映中に同時に行い、「やめ」の号令までとする。ただし、解答しやすいように、次の場面が始まるまで各場面終了時の映像が静止すると同時にタイマー（下図参照）が表示され、針が10秒で1周するので、この時間を活用するとよい。最終場面後のタイマーが10秒経過したら「やめ」の号令がかかり、解答時間終了となる。



2. 解答方法の変更に伴う実技訓練実施要領について

(1) 訓練目的

貴重品運搬警備業務実施中の警備員が、警察官に停車を命じられた場合の正しい対応又は警戒要領をまとめた映像を見ながら、警備員が取るべき措置について習得する。

(2) 実技訓練実施時間

40分（映像の全再生時間は約10分）

(3) 訓練用映像の構成

① 全体の構成

ア 警備員が貴重品運搬警備業務中に警察官に停車を命じられた場合の模範映像（約7分）

イ 実技試験の演習映像4場面（約3分）

添付（２）①

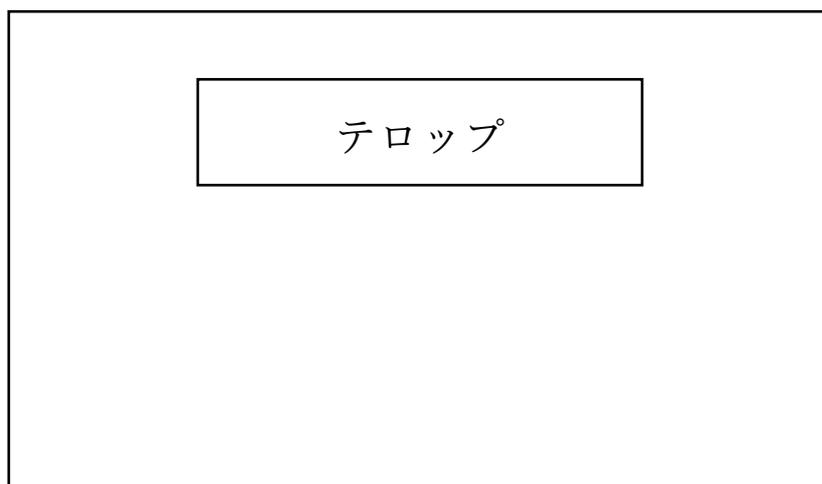
② 模範映像の概要

模範映像は、銀行駐車場から警備輸送車両に乗車して出発したところ、警察官から停車を命じられたため、必要な対応又は警戒を行う映像である。

平成銀行新宿支店駐車場出発→警察官の停車命令→平成銀行新宿支店駐車場に戻る（警察官による金庫室検索まで）の順に放映される。

③ 重要箇所の表示

模範映像では、重要箇所にさしかかると、画面上部に対応又は警戒要領のポイントがテロップ表示され、映像が約3秒間静止する。（下図参照）



④ 演習映像の概要

模範映像で触れた場面から4箇所を、実技試験同様に、正しい対応・警戒要領又は誤りの対応・警戒要領の映像として放映し、正誤の判定の演習を行う。

なお、演習映像と全く同一の映像は、実技試験では使用されない。

(4) 実技訓練実施要領

① 訓練の流れ

模範映像を放映する（パソコンでの再生は禁止）。映像中、重要箇所にさしかかると対応又は警戒要領のポイント（10箇所）がテロップ表示される。ただし、テロップは映像が静止した状態で約3秒間の表示なので、担当講師は映像を一時停止して解説を行うこととなる。

また時間配分によっては、一通り解説した後、次には模範映像を途中で止めずに放映するなど、再度の放映により重要ポイントや映像の内容を再確認してもよい。

模範映像による対応又は警戒要領の解説後は、実技訓練用答案用紙を配布（回収不要）して演習問題を解いてみる。ここで実技試験の実施要領を体験させるとともに、対応又は警戒要領が正しく理解できているか確認する。

添付（２）①

② 模範映像中の表示テロップ及び主な映像の内容等

下表は警備員特別講習事業センターのサイボウズに掲載される。都道府県警備業協会を通じてデータを印刷、配布資料としてよい。また独自の資料に利用してもよい。

| 表示テロップ | |
|--|---|
| 主な映像の内容、映像中の警備員の会話・通話等 | |
| 交通状況を確認して、安全を確保できる場所に停車する。 | 「ここじゃ危険だから一度駐車場に戻った方がいいな」…以降、省略…（以下「…」とする） |
| 会話をする際の窓の開放は、必要最小限度にとどめる。また、警察官に停車を求められた場合は警察手帳の提示を求める。 | 映像：窓は最小限度の開放で 「すいませんが警察手帳を見せてもらえますか。」… |
| 警察手帳は外観だけでなく、身分証明書も必ず確認する。 | 「身分証も確認させていただきますか。」… |
| 警察官に停車を求められたら、必ず基地局に連絡する。 | 「至急、至急、新宿警備、新宿警備、こちらは新宿警備1。」…「新宿警備1、ポイント A-5、11:15 出発、警察官の停止命令にて現在ポイント A-5 に停車中、詳細追って連絡する、どうぞ。」… |
| 停車を命じられた理由を警察官に確認する。 | 「恐れ入りますが、停車の理由を聞かせてもらえますか。」「はい、その先の明治銀行で現金強奪事件が発生しましたので、検問を行ってます。」 |
| 警察官に協力を求められた時は、適切な言動で積極的に協力する。 | 「確認のため、免許証を見せてください。」「はい。」 |
| 停車を求められた理由を基地局に連絡するとともに、金庫室検索依頼があったので、この場合、基地局の許可を受ける。 | 「念のため、金庫室を確認させてもらいたいんですが、よろしいですか。」「基地局に確認しますので、少しお待ちください。」…「新宿警備1、警察官より、付近で現金強奪事件発生とのこと。また、金庫室内の検索を行いたいとのこと。指示を願う、どうぞ。」…「金庫室内検索を許可する、どうぞ。」… |
| 警察官が立会いであっても、下車時に周囲の警戒を怠らない。 | 映像：助手席で前方、前上方、側方、側上方、後方を確認してから下車する。 |
| 警備員全員で下車し、連携を取りながら警戒を行う。 | 映像：警備員全員が下車して警戒し、金庫室開放時も積卸しと警戒とに役割分担して警戒もれのないようにしている。 |
| 警察官の検索中であっても、警戒を継続する。 | 映像：警察官の検索中も警備員全員で警戒を継続している。 |

添付（２）①

③ 演習映像 4 場面の内容

演習映像では、実技試験同様の方式で対応又は警戒要領の正誤を判定してみる。その際、下記の映像の内容や解答ルールについて周知しておく。

ア 試験映像の内容について

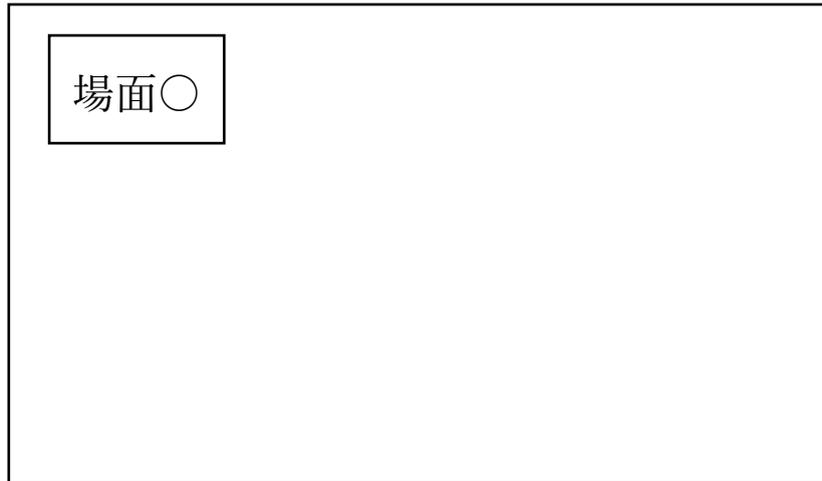
- (ア) 試験映像は、貴重品運搬警備業務中に警察官に停車を命じられた場合の一連の映像が 10 場面に分けて放映される。
- (イ) 試験映像は、模範映像でテロップ表示される 10 箇所の重要ポイントを、1 つの場面で 1 つの重要ポイントを問う構成で、各 1 回ずつ問うものである。よって、10 場面全て異なる内容の対応又は警戒要領によって、正誤が問われる。
- (ウ) 各場面の映像は、正しい映像か、1 つ誤りがある映像か、のどちらかである。
- (エ) 各場面の冒頭（場面の切り替わり時）は、新しい場面の開始を告げる通知音が流れて、画面左上の場面番号テロップ（下図参照）が変わる。

イ 正誤の判定についての注意点

- (ア) 各場面、その場面の映像終了まで放映された内容をもって、正誤を判定する。「その次にするはずの行動」が放映されなかったことを「しなかった」とみなし「誤り」と判定しないこと。次の場面でそれが放映される可能性もある。
- (イ) 「窓の降下」や「警察官への適切な言動での協力」など、複数の場面に絡んでくるような重要ポイントも、それを理由に正誤を判定するのは 1 つの場面のみである。複数の場面で同じ重要ポイントによる正誤の判定をしないこと。
- (ウ) ある場面（例：「停車理由の確認」）において、そこに映った他の重要ポイント（例：窓の降下）があっても、そちらで誤りを問うことはない。よって、その場面で問われている重要ポイントは何かを正しく判別できるようにすること。

ウ 解答のルール

- (ア) 解答の記入は、映像放映中に同時に行い、「やめ」の号令までとする。それ以降の記入は不正行為とみなし、試験は失格とする。
- (イ) 解答しやすいように、次の場面が始まるまで各場面終了時の映像が静止すると同時にタイマーが 10 秒間表示されるので、この時間を活用するとよい。最終場面後のタイマーが 10 秒経過したら、「やめ」の号令で解答時間終了となる。
- (ウ) 解答は、答案用紙の「正しい」又は「誤り」のどちらかの□（チェックボックス）に✓（チェックマーク）を記入する方法とする。それ以外の解答方法は無効である。
- (エ) 実技試験の答案用紙には、受講番号、氏名、解答以外は記入しないこと。
- (オ) 解答の記入は鉛筆又はシャープペンシルを使用し、訂正する場合は消しゴムで綺麗に消すこと。



※ 試験映像も訓練用映像同様、パソコンでの再生は禁止とする

号令は次のとおり。

「答案用紙にゼッケン番号と氏名を記入しなさい」

（全員の記入が終了後）

「只今から警察官に停車を命じられた場合の周囲の警戒要領の実技訓練を実施する」

「映像を見ながら、警備員の対応又は警戒要領が『正しい』か『誤り』かを判定し、どちらかのチェックボックスにチェックマークを記入しなさい。ただし、各場面、全て異なる内容の警備員の対応又は警戒要領について問うものとする。それでは映像を放映する」

（最終場面のタイマー10秒経過後）

「やめ」

4 場面の内容は下表のとおり。

| 場面 | 正しい対応又は警戒要領 |
|------|---|
| 正解 | 映像中の誤った対応又は警戒要領 |
| 場面 1 | 会話をする際の窓の開放は、必要最小限度にとどめる。また、警察官に停車を求められた場合は警察手帳の提示を求める。 |
| 誤り | 窓を必要最小限度ではなく半分程度開放している。 |
| 場面 2 | 停車を命じられた理由を警察官に確認する。 |
| 正しい | |
| 場面 3 | 停車を求められた理由を基地局に連絡するとともに、金庫室検索依頼があったので、この場合、基地局の許可を受ける。 |
| 正しい | |
| 場面 4 | 警備員全員で下車し、連携を取りながら警戒を行う。 |
| 誤り | 運転席の警備員を車内に残している。 |